

## 2023 年度放射線授業事例コンテスト 放射線授業事例

タイトル	実践的放射線教育「飯舘村実地研修」の事例
対象（校種・学年）	高等学校・1，2年
教科・領域・単元	総合的な探究の時間（科学系課外活動）
ねらい	空間放射線量測定，埋設土壌の放射線測定及び農作物や土壌の放射能濃度測定など，現地で測定実習を実施することで，放射線や土壌除染に関する知識・技能を身につける。
授業での実践	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 未実施
キーワード	飯舘村，実地研修，放射線量測定，放射能濃度測定
内 容	<p>本校では，1・2年生の希望生徒を対象に令和元年度より福島県相馬郡飯舘村を訪問し，1泊2日で放射線等の測定に関する実習や講義，各種施設の見学及び東日本大震災・福島第一原子力発電所事故の被災地の現状と復興の歩みを学ぶ実践的放射線教育「飯舘村実地研修」を実施している。実測値に基づく放射線教育を通して，参加生徒の放射線に関する理解を深めると共に，正しい知識を身につけることにつながっている。研修の概略は以下の通りである。</p> <p>【現地講師】：認定NPO法人ふくしま再生の会 東京大学の溝口勝教授</p> <p>【研修内容】：1. 空間放射線測定実習                            ・道中の空間放射線量の測定                            ・空間放射線量の測定実習          2. 埋設土壌の放射線測定実習          3. 放射能測定実習</p> <p>研修の効果を検証するために，参加者35名を対象に，研修の前後で放射線等に関するアンケート調査を実施し，生徒の意識変容を分析した。「放射線に関する知識」の質問では，肯定的な回答が46%（16名）から77%（27名）と31%増加した。また，「放射線に関する技術」の質問では，20%（7名）から60%（21名）と40%増加した。それぞれの変化量では，測定技術に関する意識変容が大きく，本研修が放射線に関する知識を学ぶだけでなく，測定技術の習得につながることが伺える結果となった。</p> <p>また，研修に参加した生徒が研修成果をまとめ，本校の課題研究発表会，他校の発表会及び学会等での発表を行うことで成果の普及啓発も取り組んでいる。</p>
参考文献	溝口勝（2019）.『ドロえもん博士のワクワク教室「土ってふしぎ！？」～放射性セシウムに対する土のはたらき～』。ドロえもん博士と仲間たち